

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	高齢者運転免許証返納推進事業			120179	担当課	生活交通課	
	開始年度	平成26(2014)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	井上 浩人		
	歳出費目	款)総務費	項)総務管理費	目)交通対策費	決算附属資料	82	頁	
	施策の大綱	防犯・交通安全対策の推進			関連計画等	福知山市交通安全計画		
	施策名	交通安全対策を推進する			根拠法令等	-		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						
基礎情報	事業目的(あるべき姿)	近年、全国的に高齢ドライバーの交通事故の割合が増加傾向にあり、高齢ドライバーによる交通事故の増加の抑制を図り、市民の安心で安全な生活環境を守る必要があることを受け、自動車の運転に自信がなくなった、または運転する機会が少なくなった高齢者が運転免許証を自主返納しやすい環境を提供することで、運転に不安を抱える高齢者の自動車運転機会の縮小を図り、交通事故の減少につなげることを目的とする。						
	対象者	運転免許返納申請者	対象者数	256	一人当たりコスト	12.15		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等>						
	事業概要	市内在住の75歳以上の高齢者を対象に運転免許証を自主的に返納した人に対して、返納奨励金として、敬老乗車券2冊(6,000円)又はタクシー券(5,000円)のいずれかを贈呈、運転経歴証明書の交付手数料1,000円を交付、城・美術館の共通入場券を支給する。						
	主な経費と具体的内容(H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		返納奨励金		運転経歴証明書交付手数料返納金			190	
報償費		タクシークーポン券交付金			830			
報償費		敬老乗車券交付金			63			
施設入館料		城・美術館共通入場券交付			94			
関連事業		交通安全対策事業						
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①		564	865	1,294		
		補正予算・・・②		478	406	0		
		繰越し等・・・③		0	0	0		
	財源内訳	一般財源		1,042	1,271	1,294		
		国支出金		0	0	0		
		府支出金		0	0	0		
		地方債		0	0	0		
		その他特財		0	0	0		
		特定財源名称(H29実績)					頁 頁	
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.23/0	0.23/0	0.23/0	/	
概算人件費・・・④		1,840	1,840	1,840				
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			2,882	3,111	3,134			
執行状況	執行額・・・⑥		1,042	1,271				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		100.0%	100.0%				
業績指標	成果実績(アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		高齢者の事故件数の減少	人	68/65	74/65	/65	65	
				/	/	/		
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		制度利用者数	人	194/150	230/150	/185	185	
		単位あたりコスト		5.4	5.5			
運転免許返納申請者数	人	264/200	308/200	/200	200			
単位あたりコスト		3.9	4.1					

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	近年、全国的にも高齢者の事故は多発しており、本市でも交通事故の高齢者の割合は比較的高いため、必要度の高い事業である。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	他市では、返納者に対して継続的な事業展開も見られるが、本市では返納時のみサービスを受けられるという事業の割に、返納者増につながったことから効率的な事業と考える。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	事業開始によって確実に返納者が増えたことから、有効性は高い。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	事業実施前の運転免許返納者数はH23が10人、H24が16人、H25が54人であったが、事業開始後のH26が178人、H27は273人となり、事業の効果は顕著である。また、高齢者の交通事故件数も確実に減少しており、評価の高い事業である。	
	今後の課題及び方向性	公共交通が充実していない地域では、運転免許を返納しても代替交通移動手段の確保が困難であり、免許返納が進まないことが懸念される。また、周辺地域に居住する高齢者にとって免許は農作業にも必要不可欠であり、この面でも大きな課題が残る。 高齢者が安全に運転できるよう安全教育や講習制度の充実、またサポートカー等の新しい技術の推進等に取り組む必要がある。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見 ・「運転経歴証明書」交付のかわりに「マイナンバーカード」の交付推進に向けてはどうか？→身分証明書としての証明書が必要という方が多いようなので ・免許返納以外のアイデア(自動車学校での講習補助など) ・免許返納した方への継続的サービスが必要 ・正しいニーズ、数値の啓蒙 ・アウトカムはアウトプット ・高齢者の交通安全対策としては有効であると思うが、特に周辺地域等交通手段が確保できないところへの支援も考えていく必要があるのではないか(行政として)		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
	予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
		予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	交通安全対策事業			560214	担当課	生活交通課		
	開始年度	昭和41(1966)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	井上 浩人			
	歳出費目	款)総務費	項)総務管理費	目)交通安全対策費	決算附属資料	84	頁		
	施策の大綱	防犯・交通安全対策の推進			関連計画等	福知山市交通安全計画			
	施策名	交通安全対策を推進する			根拠法令等	-			
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()							
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	市民の尊い命を交通事故から守るため、交通安全思想の普及・浸透に努め、交通事故防止の徹底と交通の円滑化を図り適切な交通対策を推進する。							
	対象者	全市民	対象者数	79,000	一人当たりコスト	0.08			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉 福知山市交通対策協議会							
	事業概要	・京都府の年間交通安全府民運動実施要綱に基づき、市内33団体で組織する福知山市交通対策協議会として、年間の交通安全運動を展開し、交通安全に対する意識の高揚を図り、交通事故の防止・交通マナーの向上に努める。 ・交通安全対策会議を主宰し、策定した第10次福知山市交通安全計画に基づき、施策を具体的に実施する。 ・通学路安全推進会議を主宰し、関係機関と連携し、通学路の危険箇所の合同点検と安全対策を実施する。 ・交通安全要望に対する道路管理者、警察等との調整対応及び自治会等への対応を行う。 ・チャイルドシートの貸し出し、シートベルト着用推進を図る等。							
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項 目		具 体 的 な 内 容			H29経費		
		旅費		旅費			7		
需用費		ランドセルカバー購入費等			445				
役務費		郵送料等			231				
使用料及び賃借料		複写機使用料			28				
負担金補助及び交付金		福知山市交通対策協議会負担金等			818				
関連事業	交通指導員設置事業、交通遺児激励金交付事業								
予算と執行の状況	区 分			H28	H29	H30	H31要求		
	事業費	当初予算・・・①		1,595	1,515	4,002			
		補正予算・・・②		△ 72	14	0			
		繰越し等・・・③		0	0	0			
	財源内訳	一般財源		1,523	1,529	4,002			
		国支出金		0	0	0			
		府支出金		0	0	0			
		地方債		0	0	0			
		その他特財		0	0	0			
		特定財源名称 (H29実績)					頁 頁		
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.56/0	0.56/0	0.56/0	/		
概算人件費・・・④		4,480	4,480	4,480					
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			6,003	6,009	8,482				
執行状況	執行額・・・⑥		1,523	1,529					
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		100.0%	100.0%					
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指 標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		交通事故発生件数	件	185/180	203/180	/180	180		
				/	/	/			
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指 標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		交通安全街頭啓発活動	回	24/20	24/20	/20	20		
		単位あたりコスト			63.5	63.7			
			/	/	/				
		単位あたりコスト							

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	交通事故防止は市民の命に直接関わる重要な問題であり、市民の安心・安全のために交通安全対策に取り組む必要がある。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	福知山警察署、福知山交通安全協会等の関係機関・団体と連携することによって、継続的かつ、事故発生等に応じて緊急的・重点的に啓発活動に取り組んでおり、効率性は高い。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	交通事故発生件数は減少傾向であり、自動車の安全機能の向上や救急医療体制の充実と併せて効果がある事業と思われる。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	交通安全を推進していくには、交通対策協議会を中心に警察やボランティア団体との連携による全市的な取り組みとし、市民の意識改革に努める必要がある。そのため、継続的な取り組みによって市民の交通安全思想の普及につなげると同時に、市として交通安全に積極的に取り組むという姿勢を示すことによって、交通マナーの向上にもつながっている。交通事故の発生件数は減少傾向にあり一定の成果が上がっていると考える。	
	今後の課題及び方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・関係事業である交通遺児激励金交付事業及び交通指導員設置事業を本事業に統合する。 ・継続的な取り組みによる市民の意識改革に基づいた成果達成のため、引き続き市民協働型の運動を展開していくと同時に、関係機関が連携した取り組みを推進していく。 		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	<p style="text-align: center;">所 見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通事故の発生件数をアウトカムにするのならば、根拠と、その水準(府平均に対するものが例)を明確に ・通学路の安全点検を行うのならば、防災・防犯も含めた総合的な安全点検の実施を、関係各課と協議すべき ・警察から交通事故のメッシュデータを提供してもらい、計画的かつ効果的な取組を推進すべき ・協議会負担金と、協議会事業及び市直接事業の全体のあり方を見直すこと ・交対協という組織はよいが、負担金を拠出している主体が市のみ。他の構成団体から負担金をもらうか、もしくは人的、物的協力を得ていることが説明されないと直営事業と大差ない。市だけが負担金を拠出している根拠、又は今後の交対協と市の関わり方を整理されたい ・必要な事業と思うので、効率的、効果的に進めていただきたい。 ・指標については追加で記載を 		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	<p style="text-align: center;">所 見</p>		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<p style="text-align: center;">方針区分</p>	<p style="text-align: center;">内 容</p>	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
	予算への反映 【財政担当課記入】	<p>予算額の反映状況(対H30)</p> <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	<p>担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】</p>	